

大学卒業程度試験（早期枠） 専門試験（水産）例題

【水産政策】

令和2年12月に施行された改正漁業法を柱として、水産資源の適切な管理と水産業の成長産業化を両立させ、漁業者の所得向上と年齢バランスの取れた漁業就業構造の確立を目指す水産政策の改革の取組が進められているが、年齢バランスの取れた漁業就業構造の確立に必要な取組を述べよ。

【漁業管理】

水産資源管理の手法は、インプットコントロール（入口規制）、テクニカルコントロール（技術的規制）、アウトプットコントロール（出口規制）に大別されるが、それぞれの手法について、その具体的な規制内容を述べよ。

【資源造成・養殖】

天然の水産資源の漁獲が不安定ななかで、計画的かつ安定的に生産が可能な養殖に対する期待が高まっているが、気候変動の影響も懸念されることから、海面魚類の養殖業において、気候変動に対応していくために必要な取組を述べよ。

【加工・流通】

漁業者が漁獲した水産物の流通形態は、大きく分けて産地卸売市場に出荷する「市場流通」と、直売など市場を通さずに販売する「市場外流通」がある。市場流通の長所と課題について述べよ。